

基礎感染症学

- 到達目標：1) 寄生虫の生活史とヒトへの感染様式、体内移行経路、免疫応答などの病態、症状・診断・治療および病害動物・病害伝搬について理解する。
 2) 病原細菌および真菌類の特徴とその感染症、抗菌薬療法と感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療における論理的分析力および総合的判断力を身につける。
 3) 関係する専門用語を使用し、ウイルス感染(症)の流行・監視・病態・予防・診断と治療に関する基礎的な事柄を説明できる。

科目責任者(所属教室)：景山 誠二(ウイルス学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(金)	1	323	蠕虫総論	大槻 均	医動物学	蠕虫類の分類、形態学的特徴、生活史、感染経路と疫学を説明できる	吸虫、条虫、線虫、形態、生活史、感染経路、人獣共通感染症
2	4/1(金)	2	323	原虫総論	大槻 均	医動物学	原虫類の分類、形態学的特徴、生活史、感染経路と疫学を説明できる	原虫、生活史、感染経路、宿主特異性、臓器特異性
3	4/5(火)	3	323	消化管寄生線虫症	大槻 均	医動物学	回虫や糞線虫など消化管寄生虫症が説明できる	回虫、鉤虫、鞭虫、蛲虫、糞線虫、フィリピン毛細虫、東洋眼虫
4	4/5(火)	4	323	幼虫移行症	大槻 均	医動物学	組織寄生の幼虫移行症が説明できる	イヌ回虫、ブタ回虫、アライグマ回虫、広東住血線虫
5	4/6(水)	1	323	細菌学総論(1) 細菌の分類と構造、物質代謝	松葉 隆司	細菌学	細菌の分類と構造、物質代謝について理解する。	莢膜、細胞壁、鞭毛、芽胞、代謝
6	4/6(水)	2	323	細菌学総論(2) 細菌感染の機構と細菌毒素	藤井 潤	細菌学	細菌感染の成立と発症の条件を理解する。細菌毒素の作用機序を理解する。	感染経路、潜伏期、定着因子、細菌毒素
7	4/7(木)	1	323	ウイルス学総論(1)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルス感染症の問題について概略を説明できる	輸入感染症、市中感染症、サーベイランス、流行制御、医療機関・地方と中央行政・国際機関
8	4/7(木)	3	323	ウイルス学総論(2)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの生物学的性状と複製について概略を説明できる	形態、構造と分類、細胞死、発癌
9	4/8(金)	1	323	幼虫移行症	大槻 均	医動物学	組織寄生の幼虫移行症が説明できる	アニサキス、顎口虫、旋尾線虫、マンソン孤虫、芽殖孤虫
10	4/8(金)	2	323	門脈・肝・胆道系、消化管寄生吸虫症	大槻 均	医動物学	住血吸虫症や肝蛭症など主な吸虫類の説明ができる	住血吸虫、セルカリア皮膚炎、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫
11	4/12(火)	3	323	細菌学総論(3) 細菌の遺伝学、病原性、診断法	松葉 隆司	細菌学	細菌の遺伝、病原因子、診断手法について理解する。	プラスミド、バクテリオファージ、伝達、変異、毒素
12	4/12(火)	4	323	細菌学総論(4) 化学療法剤とワクチン	藤井 潤	細菌学	化学療法薬の特徴、作用機序、薬剤耐性機構を理解する。また代表的ワクチンについて理解する。	化学療法剤の化学構造、作用点、作用機序、ワクチン
13	4/13(水)	1	323	細菌学各論(1) 抗酸菌とジフテリア	松葉 隆司	細菌学	結核菌・非結核性抗酸菌、ジフテリア菌の病原性と病態および治療を理解する。	結核菌・非結核性抗酸菌、細胞内寄生性、ジフテリア
14	4/13(水)	2	323	細菌学総論(5) 消毒と滅菌、感染症法	藤井 潤	細菌学	消毒と滅菌が適切に行うことができる。新感染症法を正しく理解する。	消毒薬、加熱滅菌、オートクレーブ、濾過滅菌、バイオテロリズム
15	4/14(木)	1	323	ウイルス学総論(3)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルス感染症の発症病理について概略を説明できる	分布、伝播経路、複製(増殖)、免疫と自然経過、免疫回避
16	4/14(木)	3	323	ウイルス学総論(4)	景山 誠二	ウイルス学	予防と治療からなる感染症対策の概略を説明できる	診断と検査、抗ウイルス薬、遺伝子変異、薬剤耐性、滅菌と消毒
17	4/15(金)	1	323	血液・組織寄生原虫症	鳥居 本美	医動物学(非常勤講師)	マラリアの生活史、症状、診断・治療について説明ができる	マラリア
18	4/15(金)	2	323	血液・組織寄生原虫症	鳥居 本美	医動物学(非常勤講師)	マラリアの生活史、症状、診断・治療について説明ができる	マラリア

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
19	4/19(火)	3	323	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses
20	4/19(火)	4	323	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症(続き)	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses
21	4/20(水)	1	323	細菌学各論(2) グラム陽性有芽胞桿菌	松葉 隆司	細菌学	グラム陽性有芽胞桿菌の特徴と疾患を理解する。	バシラス属、クロストリジウム属、外毒素
22	4/20(水)	2	323	細菌学各論(3) グラム陽性球菌、グラム陰性球菌	藤井 潤	細菌学	グラム陽性および陰性球菌群の特徴と疾患を理解する。	ブドウ球菌、レンサ球菌、淋菌、髄膜炎菌
23	4/21(木)	1	323	ウイルス学各論(2) Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses
24	4/21(木)	3	323	ウイルス学各論(3) 各種 herpesviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種herpesviruses、潜伏と再活性化
25	4/22(金)	1	323	消化管、組織寄生条虫症	近藤 陽子	医動物学	主要な条虫症の説明ができる	日本海裂頭条虫、大複殖門条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、有鉤囊虫症
26	4/22(金)	2	323	肺寄生虫症	大槻 均	医動物学	ニューモシスチス肺炎など主要な肺寄生虫症の症候、診断・治療を説明できる	ニューモシスチス、肺吸虫、犬糸状虫
27	4/26(火)	3	323	ウイルス学各論(4) Hepatitis A, B, C, D, E viruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Hepatitis A, B, C, D, E viruses
28	4/26(火)	4	323	医師・旅行者のための予防接種と抗体検査	千酌 浩樹	感染制御部	臨床実習までに充分時間のある時期に、予防接種・抗体検査の意義について理解し、必要な対策を立てられる。	予防接種、抗体価と感染、医療関係者、旅行者
29	4/27(水)	1	323	真菌学総論	松葉 隆司	細菌学	おもな病原真菌の分類、同定法、感染症を理解する。	二形性、胞子、深在性真菌症、表在性真菌症、真菌アレルギー、マイコトキシン、日和見感染、基礎疾患
30	4/27(水)	2	323	細菌学各論(4) マイコプラズマ科細菌	藤井 潤	細菌学	マイコプラズマ科細菌の特徴と疾患および治療を理解する。	ペニシリン非感受性、マイコプラズマ肺炎、非淋菌性尿道炎
31	4/28(木)	3	コンピューター演習室	感染症チュートリアル(1)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
32	5/6(金)	1	323	血液・リンパ系寄生、組織寄生	大槻 均	医動物学	組織寄生虫症の特徴が説明できる	バンクロフト糸状虫、回旋糸状虫、メジナ虫、旋毛虫
33	5/6(金)	2	323	消化管・肝、脳寄生虫症	大槻 均	医動物学	エキノコックス症、アメーバ赤痢を説明できる	エキノコックス、赤痢アメーバ、病原性自由生活性アメーバ
34	5/10(火)	3	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(2)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
35	5/10(火)	4	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(3)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
36	5/11(水)	2	323	細菌学各論(5) 腸内細菌科の細菌とビブリオ属	藤井 潤	細菌学	腸内細菌科の細菌とビブリオ属の病原性と病態を理解する。	サルモネラ、下痢原性大腸菌、赤痢、腸チフス、ペスト、コレラ、腸炎ビブリオ
37	5/12(木)	1	323	ウイルス学各論(5) Measles, Mumpus, Rubella, Parvoviruses と感染症、ワクチンと予防接種	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Measles, Mumpus, Rubella, Parvoviruses、ワクチン、予防接種
38	5/12(木)	3	323	ウイルス学各論(6) Papillomavirusと感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Papillomavirus

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
39	5/13(金)	1	323	消化管、生殖器、血液・組織寄生原虫症	大槻 均	医動物学	腸管および生殖器寄生原虫および血液・組織寄生原虫を説明できる	クリプトスピリジウム、ジアルジア、トリコモナス、トキソプラズマ
40	5/13(金)	2	323	血液・組織寄生原虫症	大槻 均	医動物学	トリパノソーマ、リーシュマニアおよび熱帯医学の基本的事項を説明できる	トリパノソーマ、リーシュマニア、熱帯医学
41	5/17(火)	3	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(4)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
42	5/17(火)	4	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(5)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
43	5/18(水)	1	323	細菌学各論(6) レジオネラと呼吸器感染症	藤井 潤	細菌学	レジオネラの細胞内寄生機構と病態・治療を理解する。百日咳菌、インフルエンザ菌の病態を理解し、診断できる。	レジオネラ、百日咳菌、インフルエンザ菌
44	5/18(水)	2	323	細菌学各論(7) カンピロバクターとヘリコバクター	藤井 潤	細菌学	カンピロバクターとヘリコバクター病原性・病態および治療を理解する。	食中毒、小児下痢症、慢性胃炎と胃潰瘍、胃がん、ウレアーゼ
45	5/19(木)	1	323	ウイルス学各論(7) HTLV-I, HIV-1,2と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	HTLV-I, HIV-1,2
46	5/19(木)	3	323	ウイルス学各論(8) 呼吸器感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Parainfluenzaviruses, RS viruses, Rhinoviruses, Metapneumo, Boca, SARS-CoV, MERS-CoV,
47	5/20(金)	1	323	病原保有、病原伝播	大槻 均	医動物学	病原保有、病原伝播について説明できる。	ツツガムシ、日本紅斑熱、ライム病、マダニ
48	5/20(金)	2	323	病害動物、ダニアレルギー	大槻 均	医動物学	病害動物およびダニアレルギーについて説明できる。	毒蛇咬傷・ハチ刺傷・疥癬・ケジラミ・アレルギー、ヒヨウヒダニ
49	5/24(火)	3	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(6)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
50	5/24(火)	4	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(7)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
51	5/25(水)	1	323	細菌学各論(8) スピロヘータ	尾鶴 亮	細菌学	ボレリア、レブトスピラ、トレポネーマの病原性と病態および治療を理解する。	ライム病、ワイル病、梅毒
52	5/25(水)	2	323	食中毒と集団感染	藤井 潤	細菌学	食中毒を中心とした集団感染の予防対策ができる。	集団感染、食中毒、腸管出血性大腸菌O157
53	5/25(水)	4	323	真菌学各論	松葉 隆司	細菌学	おもな真菌症の病態、診断および治療法を理解する。	カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、ムコール症、皮膚糸状菌症
54	5/26(木)	3	323	ウイルス学各論(9) Influenza	常城 朱乃	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Influenzaviruses,
55	5/26(木)	4	323	実習の説明	常城 朱乃	ウイルス学	ウイルス検査に応用されている手法について概説できる。	ウイルス検査手技、細胞変性効果、HA, HI, PCR
56	5/27(金)	1	323	寄生虫感染と免疫応答	大槻 均	医動物学	寄生虫感染免疫および寄生虫由来免疫抑制因子について理解できる	寄生虫感染と免疫応答、免疫抑制因子
57	5/27(金)	2	323	寄生虫症の診断と治療	大槻 均	医動物学	寄生虫症の診断法と治療法を説明できる	臨床寄生虫学、好酸球增多、免疫診断、遺伝子診断、駆虫薬
58	6/3(金)	1	323	ウイルス学各論(10) BK/JC viruses, Prionと感染症	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	BK/JC viruses, Prion
59	6/3(金)	2	323	ウイルス学各論(11) 総括	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種ウイルス、予防、治療、研究
60	6/8(水)	1	323	細菌学各論(9) クラミジア科、リケッチア目、動物由来感染症、アクチノマイセス、ノカルジア	松葉 隆司	細菌学	クラミジア科、リケッチア目細菌の特徴と疾患を理解する。	偏性細胞内寄生性、媒介節足動物、性感染症、ブルセラ症、野兎病、猫ひっかき病、Q熱

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
61	6/8(水)	2	323	院内感染と緑膿菌	藤井 潤	細菌学	緑膿菌とブドウ糖非発酵菌の病原性を理解する。耐性菌について学び、院内感染の対策を実行できる。	院内感染、市中感染、緑膿菌、MRSA、VRE、ESBL、MBL、アシネットバクター
62	6/10(金)	1	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(8)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御 学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
63	6/10(金)	2	ETU3-6~13 ETU4-2~7	感染症チュートリアル(9)	大槻・近藤・藤井・松葉・尾鶴・景山・常城	感染制御 学講座	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
64	6/15(水)	1	323	ウイルス学発表会(1)	景山 誠二 常城 朱乃	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
65	6/15(水)	2	323	ウイルス学発表会(2)	景山 誠二 常城 朱乃	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
66	6/17(金)	1	323	細菌学発表会(1)	藤井 潤 松葉 隆司・尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
67	6/17(金)	2	323	細菌学発表会(2)	藤井 潤 松葉 隆司・尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
68	6/22(水)	1	323	医動物学発表会(1)	大槻 均 近藤 陽子	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
69	6/22(水)	2	323	医動物学発表会(2)	大槻 均 近藤 陽子	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
70	6/24(金)	1	323	ウイルス学発表会(3)	景山 誠二 常城 朱乃	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
71	6/24(金)	2	323	ウイルス学発表会(4)	景山 誠二 常城 朱乃	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
72	6/29(水)	1	323	細菌学発表会(3)	藤井 潤 松葉 隆司・尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
73	6/29(水)	2	323	細菌学発表会(4)	藤井 潤 松葉 隆司・尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
74	6/30(木)	3	323	医動物学発表会(3)	大槻 均 近藤 陽子	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
75	6/30(木)	4	323	医動物学発表会(4)	大槻 均 近藤 陽子	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学

教育グランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6

学位授与の方針との関連: 1、2

評価: 3分野(医動物学、細菌学、ウイルス学)の定期試験の成績(平均点)等で評価する。

教科書/参考書 医動物学は特に指定しない。代表的な教科書を2つを推奨する。1)図説人体寄生虫学(第9版)、南山堂、2016年、2)寄生虫学テキスト(第3版)、文光堂、2008年;

細菌学は特に指定しない。代表的な教科書を2つを推奨する。1)戸田新細菌学(改訂34版)、南山堂、2013年、2)標準微生物学(第11版)、医学書院、2012年

ウイルス学は特に指定しない。代表的な教科書は以下のとおりであり、訳書も販売されている。追加資料を必要とする場合には教育担当者と個別に協議することを勧め

1. Principles of virology: molecular biology, pathogenesis, and control of animal viruses. Flint et al. ASM Press Washington DC, USA

2. Harrison's principles of internal medicine, McGraw-Hill, NY, USA.

試験日程(予定) ウィルス学 7月 4日(月) 15:20-17:00

細菌学 7月11日(月) 15:20-17:00

医動物学 7月19日(火) 15:20-17:00